

.....

【体験した事例の直接的な原因について】

【体験した事例について】

事例情報シート解析候補 (2009)

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[45]歳、 勤続年数[25]年、 現場経験年数[20] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	水難救助現場に防火衣を着装して出動	
経過 2	A	要救助者をフロート担架に乗せ	
経過 3	A	浅瀬から陸上に引き揚げる際	
経過 4	A	水深が浅いと思い込み	
経過 5	A	防火衣着装のまま、深みに入ってしまった	
経過 6	A	水中で防火衣のため身動きが取れなくなった	
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

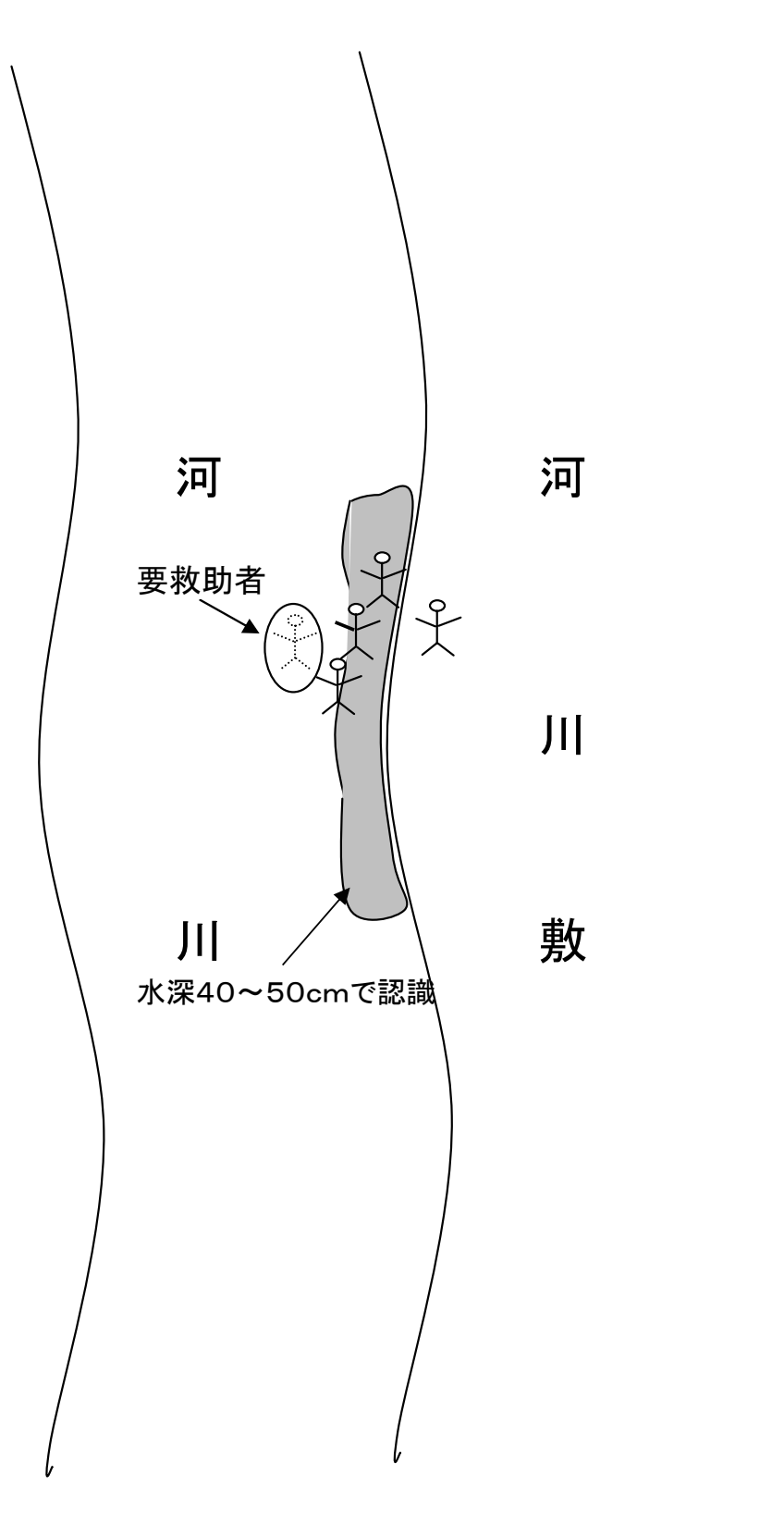
・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：危険だという認識がなかった。（寒いから、面倒だから）

ヒヤリハット発生状況



・発生日時：平成 年 月 日 時頃

経過	現場の状況	隊員A	備考
		隊員／消防司令補 ・年齢 45 歳 ・勤続25 年 ・現場 20 年 ・同様の活動：1年に数度	
出動指令 出動途上 現場到着 活動初期 活動降中期	水難事故出動指令		水難救助への出動
	外気温が低温であった	水難救助現場に防火衣を着装して出動	事例当時は冬期の夜間であったため気温が低く、訓練で実施している服装を怠り防火衣を着装 防寒を優先していた
		現場到着	
	水底は夜間及び濁りのため視認できない状態	要救助者をフロート担架に乗せる	要救助者を河川から引き寄せようとした際に、当現場の水深は約40～50cm程度であると認識した
		浅瀬から陸上に引き揚げの際、防火衣着装のまま、深みに入ってしまった	急激な深み(約1m)が確認できなかった
		水中で防火衣のため身動きが取れなくなった	消防隊長及び他の隊員は水難救助現場での防火衣着装が危険であることが認識不足であった

◎事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○直接的な原因：
・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎事故が起きた背後要因

(心理・体調について)
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
・活動に対する経験が不足していた。
(装備・資機材について)
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。
(活動環境について)
・暑かった(寒かった)。
・足元が躓いたり滑りやすかった。
(指揮・管理について)
・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等)。
・指示内容に誤り・偏りがあった。
(その他)
・危険だという認識がなかった。(寒いから、面倒だから)